

海外ボランティアレポート（JICA 海外協力隊シニアボランティア）

氏名：兼上泰行 作成年月日 2025 年 10 月 26 日

派遣国：エクアドル 職種：障害児・者支援

「エクアドルでのボランティア活動もまとめの時期に」

みなさん、こんにちは。

私は、障害児・者支援隊員として、南米エクアドルに派遣されて、もう少しで2年間が経過します。

これまで、私は、2 か所でボランティア活動を行ってきました。2024 年 3 月～2025 年 3 月まではティエラヌエバ財団デイケアセンター、そして、この4月からは現在のコノコトインクルーシブ保護センターでボランティア活動をしています。今回のレポートでは、現在配属されているコノコトインクルーシブ保護センターでの活動について紹介します。



この保護センターは、1970年に障害児者支援を目的として設置された団体。知的・身体障害を抱える成人（18歳～65歳 約45人）の保護施設。ほとんどの入所者は身寄りも家族もなく、この施設内で暮らしています。入所者のほとんどは、この施設が生涯を過ごす生活の場。職員は交代制で24時間常駐し、入所者の生活支援に当たっています。どの入所者の方も穏やか、陽気で朗らか。入所者同士が支え合って、その日を丁寧に生きている様子が当たり前のようにあります。例えば、排泄介助、衣服

交換、手洗い、おむつ交換、車いす移動なども自然に手伝う姿が多く見られます。ほとんどの入所者が、女性の教職員を「ママ」、男性の教職員を「パパ」と呼びます。（ちなみに、私は「やっさん」とか「パパ」（親愛の情を込めて「パピート」と呼ばれる時も・・・）と呼ばれています。

どんな活動しているの？ 先日の活動日記を紹介します・・・

【2025 年 10 月 22 日に活動日記より】

- 1 朝の集まり 日本のラジオ体操指導
- 2 厨房手伝い（配膳補助、食器洗い）
- 3 絵カードを使った言葉の学習
- 4 おやつ配膳と会食時の安全見守り
- 5 簡単フィットネス、ヨガストレッチ指導
- 6 厨房手伝い（配膳補助、食器洗い）
- 7 午後の散歩（入所者さんと共に）



さて、私には次の3つのミッションが与えられています。

- 1 配属先の活動全般について同行・参加し、改善や助言をする。
- 2 発達段階が異なる入所者に応じたアクティビティについて日本の手法を紹介し、実践する。
- 3 同僚を対象に自身の経験や知見についての講習会をする。

そのため、入所者の方一人一人の生活向上を目指して、主に次のことをしています。

- ・一人一人に応じた学習課題の例の紹介
- ・エクアドル手話や絵カードを使ったコミュニケーションの指導

入所者さん同士が、様々なコミュニケーションを図る手段を身に付け、さらに良好な関係を築いてほしいと思ったのがきっかけです。

- ・日本の文化の紹介。(日本の食事、文化、折り紙)
(※福井のことも紹介しました。)
- ・日本の「ラジオ体操」指導(朝の集会)
- ・ヨガ、ストレッチ運動の指導
- ・興味・関心を高めるための活動。

最近では、「世界食糧デー10月16日」。

テーマ「食べ物に感謝しよう。」

世界の貧困の様子を紹介

日本食を食べよう。※メニュー：ちらし寿司

日本の箸に挑戦。

栄養のこと、世界の貧困の样子の学習、食べ物への感謝、日本食を味わう(今回はちらし寿司)、箸の紹介と箸を使ったゲームなどを行いました。



その他の活動として・・・

福井県立ろう学校中学部・高等部とのオンラインにより交流学习も継続しています。今後も実施する予定で、現在、計画を進めています。これまで、同期のエクアドル隊員とともに、エクアドルでの生活の様子や自らの活動について紹介。また、ろう学校の生徒の皆さんからは、福井県のこと、ろう学校での生活、日本手話を教えてもらっています。

残り、数か月のボランティア生活、心も身体も健康で、自分なりに少しで前に進むことができたらと願うばかりです。